

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年 2月 29日

事業所名 こども発達支援センターいるか まくらざき

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			利用児における十分なスペースであり、場合によっては部屋の使い分けも出来ております。
	2 職員の配置数は適切である	○			定められた人数に従って、よりよい支援が出来るよう励んでおります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			構造によってはバリアフリー化でない箇所等については、必要に応じて職員を配置していき介助等や見守りを徹底して行っております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			完全バリアフリー化とはなっており、必要に応じて検討して参ります。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			目標達成に向けて、職員間で共通理解を深めより良い支援を行ってまいります。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			年に1回アンケートを実施し、保護者様の意見を把握して改善すべき点を職員間で話し合い、業務に繋げて参ります。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			評価の結果を踏まえて、改善点等の内容をホームページ上で公表して周知しております。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			今年度より第三者による外部評価を行いました。今後も取り組んでまいります。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			職員のスキルアップのために行っております。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			アセスメントシートを用いて、利用児の課題やニーズを会議を通して職員間で話し合い、計画書に記載の方を行っています。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			アセスメントシートなどのツールを活用し、支援の質の向上を目指していきます。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			発達段階に合わせた支援の内容を決めていき、計画書の作成や見直しを行い、計画書に基づいた支援内容を設置しております。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			児童発達支援計画に沿っていきながら、十分な支援を行っております。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			活動のプログラムを職員間で話し合い立案しております。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			固定化しないよう、振り返りを行っていき活動のねらい等を設定しています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			個人の発達段階に合わせて配慮し、的確な対応が出来るよう計画書の作成を行っております。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			職員間で支援内容や役割分担を打ち合わせを行い、確認を行っております。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			その日の支援終了後、反省点や改善点を話し合い、次の支援に向けて情報共有をしております。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			徹底して支援内容を記録しており、ミーティング等で話し合ったりなど改善につなげてまいります。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			半年に1回モニタリングを行っており、それに伴い計画書の見直し等に取り組んでおります。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参加をしております。担当者会議の内容を報告し、職員間で共通理解に努めております。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保健師や関係機関との連携を取り合いながら支援を行っております。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	現在対象とした児童はいないが、今後のためにも体制を整え、支援が行えるようにしていきたいです。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	現在対象とした児童はいないが、今後のためにも連絡体制を整えてまいります。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		担当者会議にて保育園等などに、支援内容の情報共有と相互理解に努めています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保育園等などと連携をはかりながら移行支援シートを作成し、小学校や特別支援学校との支援内容の情報共有と相互理解に努めております。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	双方との連携が取れていないのが現状である。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	現在、機会を設けておらず行えておりません。今後機会を設け検討していきたいです。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		協議会等の参加を積極的に行っております。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		その日の様子や現状等を連絡帳や送迎で来られた保護者様とお話し、共通理解を行っております。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	保護者様に対しての支援プログラムを通しての支援が出来ていない現状である。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に支援内容や利用者負担等について説明を行っております。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		新規での契約時の際に児童発達支援ガイドラインに基づいて支援内容の説明をガイドラインに沿って行っており、それに伴い保護者様からの同意を得ております。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談に対して迅速に対応できるものは助言し、内容によっては職員間と話し合い対応を行っております。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	現在行えておりませんので、検討して機会を設けたいと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		利用児童や保護者様からの相談、申し入れがあった際には、面談等を行い迅速に対応出来るよう心がけております。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月会報を発行し、活動内容や行事予定の情報を利用児や保護者様に発信しております。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		外部の情報が漏れないように徹底しております。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		意思の疎通や情報伝達のために、メールや電話等でのやり取りで対応しております。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		地域の方々を呼び事業運営を行っております。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			マニュアルを策定し、職員間で周知を行っています。保護者様には周知の方が出来ていない現状にあるため、徹底していきたいと思います。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			避難訓練を年に3回行い、定期的に取り組んでいます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			てんかん発作等の児童に関しては職員間や保護者様とも連携をはかったうえで状況把握をしております。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		現在対象児童はおらず対応できていないが、今後のためにも対応できるよう体制を整え努めてまいります。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハットを作成し、全職員間で共有を行っております。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待防止委員会を中心に研修等の機会を設け、情報共有を行ってます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			保護者様にあらかじめ説明し、了承を得たうえで計画書に記載しております。